

第1期活動の総括

1) 環境会議の目的、目標とその達成状況

(1) 環境会議の目的、目標

環境会議の目的

循環型社会を実現するロジスティクスの構築
 ～個人が変わる、企業が変わる、物流が変わる～

環境会議の目標

行政・自治体・大学等の研究機関・関連団体と連携を図りながら、環境と調和したロジスティクス方針・活動を通じて、
 循環型社会を実現するロジスティクスの構築に取組む企業を増やす。

(2) 達成状況

) 基盤整備活動

「取組む企業を増やす」という目標は達成することができなかった。しかし、各委員会で作られ成果物等（詳細はP1参照）
 を発信することにより、今後取組む企業を増やすことができることから、基盤整備活動はできたと考える。

) 関係行政機関や関連団体との連携による啓発・普及活動の推進

「改正省エネ法」や「グリーン物流パートナーシップ会議」などの行政動向に対し、この環境会議は民間・団体の受け皿と
 して、非常に大きな役割を果たしてきた。今後は、今まで築いてきたこの行政等とのパイプを活かして、「我々が抱えてい
 る課題の情報発信」を行っていきたい。

2) 課題

(1) 効率的な活動

第1期活動により多くの成果物ができたが、それらは各委員の皆様の多大な労力、負担により成し遂げられたものであり、今
 後、より効率的な活動が必要だと考える。

(2) 情報共有

自社が所属していない他の専門委員会の活動状況が分からないとの意見が多いことから、今後各委員会活動の情報共有が
 不可欠であると考えます。



企画運営委員会からの提案 —ロジスティクス環境宣言—

企画運営委員会より、下記ロジスティクス環境宣言の提案がなされ、全会一致で承認された。

第1期ロジスティクス環境会議
「ロジスティクス環境宣言」

ロジスティクス環境会議およびそのメンバーは、循環型社会を実現するため、物流分野の環境負荷低減を経営の重要課題として認識し、以下の活動に積極的に取り組むことを宣言する。

1. 自らの環境負荷を低減する

自らの活動によって発生する環境負荷低減の目標を定め、目標達成に向けたマネジメントサイクルを推進する。

2. 環境負荷低減に取り組む企業を増やす

関係企業とパートナーシップを築き、共に環境負荷低減に向けた取り組みを推進する。

3. 情報を発信し、循環型社会の形成に寄与する

活動を通して明らかになった課題については、企業・行政・団体等の関係者へ情報発信を行い、循環型社会の形成に寄与する。

2006年3月15日
社団法人日本ロジスティクスシステム協会
ロジスティクス環境会議

提案理由及び内容説明

4月から改正省エネ法がスタートします。我々が属している物流分野も、社会から注目される立場になります。そういう意味では環境会議参加メンバー企業の方々には、ぜひ先頭に立って、環境負荷低減に取り組んでいただきたい。その思いから本宣言を作成し、提案するに至りました。

まず1番目は、「私たちは自ら実行する」ということです。

2番目は「自分たちだけやればいいんだ」ということではなく、お客様であったり、自分たちの関係企業であったり、それぞれ身近にいる企業に、本日紹介した各種ツールを利用していただき、仲間に引き入れていただきたい。そうすることで私たちが願っている循環型社会に一歩でも二歩でも近づけるのではないかと思います。

3番目は、活動を行っているときに「これはおかしい、なんでこのようなことになっているのか」ということがあると思います。先ほどリバースロジスティクス調査委員会の菅田委員長から非常に多くの課題(P6 4.リバースロジスティクス調査委員会 3)(1) iii) 参照)をご報告いただきましたが、たぶん皆様の身近にもあるのではないのでしょうか。それをそのままにしないで、情報発信してほしいのです。皆様の声が今の社会を変え、循環型社会を作る大きな力になるのです。もし、自分の会社の名前が出ると困るというのであれば、JILSや環境会議を使ってください。環境会議は皆様の矢面に立って情報発信を行います。また、それは行政にとっても望まれることではないのでしょうか。行政は情報を隅々までつかむことはできません。情報を知っているのは隅々まで活動を行っている我々です。逆にいうと我々は情報発信する責任があるわけです。

以上、簡単ではございますが、ロジスティクス環境宣言の提案理由及び内容説明とさせていただきます。



小西企画運営委員会副委員長

ロジスティクス環境会議 第2期活動について

ロジスティクス環境会議第1期活動を踏まえ、産業界、学界、自治体と関係行政機関、関連団体等の方々と目標、課題を共有し、人的交流を深めながら、循環型社会を実現するロジスティクス構築に向けた活動を推進していくために、第2期活動を実施することについて、第4回本会議にて全会一致で承認されました。つきましては、第1期に引き続きまして、皆様方のご参加をお待ちしております。

概 要

1. 活動期間

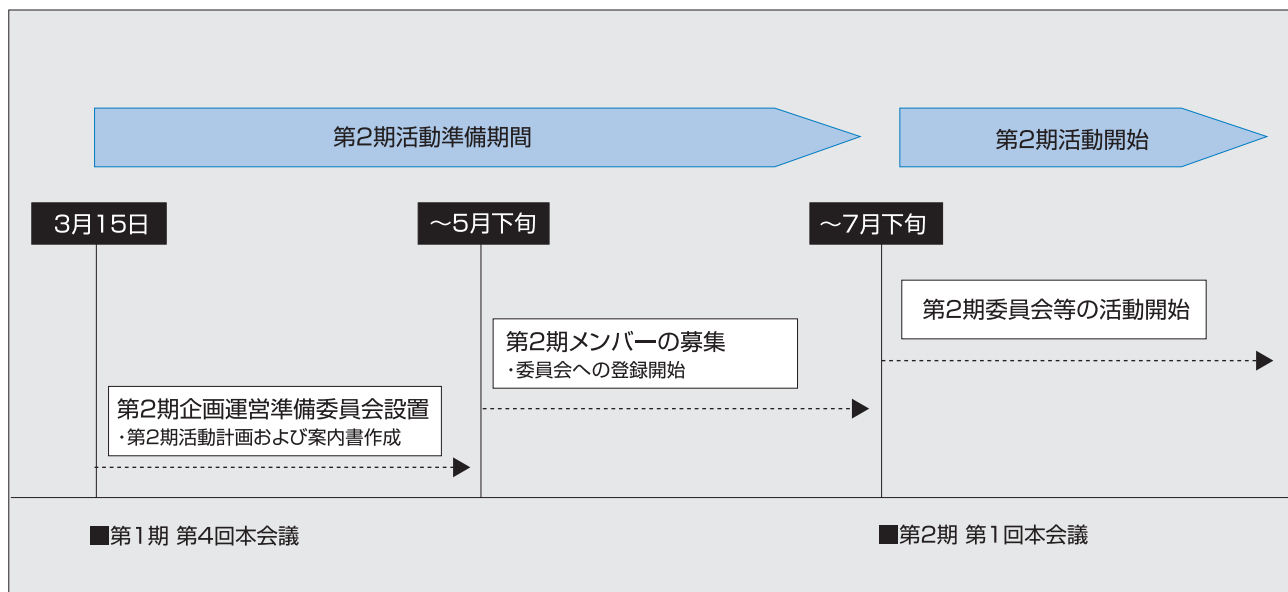
2006年7月～2008年3月(2年間)

2. 第2期活動内容等の検討

企画運営準備委員会を設置し、第2期の活動内容等を検討

3. 第2期活動のスケジュール(予定)

- 1) 3月下旬～5月下旬
 - ・第2期活動計画案および案内書の作成
- 2) 5月下旬～6月下旬
 - ・活動テーマ、体制等の確定
 - ・第2期メンバー募集および委員会等への登録
- 3) 7月中旬
 - 第2期、第1回本会議開催



*詳細につきましては、決まり次第、パンフレットやホームページ等でお知らせいたします。

企画・編集 / ロジスティクス環境会議 広報・普及専門委員会

委員長	小西俊次	愛知陸運(株)
副委員長	黒坂真一	(株)ヤマタケ
〃	河野義信	新日本製鐵(株)
委員	竹原 郁	いすゞ自動車(株)
〃	栗田典彦	(株)イトーヨーカ堂
〃	眞鍋大輔	NECロジスティクス(株)
〃	三浦俊男	日本ロジテム(株)
〃	野村久則	(株)菱食

CGLジャーナル 第3号 2006年4月21日発行

発行人 徳田 雅人
 編集人 佐藤 修司
 編集制作 ロジスティクス環境会議 広報・普及専門委員会
 社団法人 日本ロジスティクスシステム協会
 発行所 ロジスティクス環境推進センター
 〒105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝二丁目ビル 3階
 TEL 03-5484-4021 FAX 03-5484-4031
 e-mail: cgl@logistics.or.jp
 URL <http://www.logistics.or.jp/green/>
 印刷 (株)アルファコム

禁無断転載